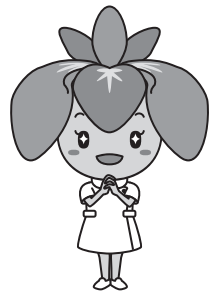




乳がん検診を実施しています

問 市民病院地域連携室 ☎48-5050



現在、乳がんになる人の数は年々増える傾向にあります。月に一度は自己検診、1年に一度はマンモグラフィと超音波検査を受け、乳房のわずかな変化を見逃さないことが大切です。

時 令和4年3月31日(木)までの午前（土日・祝日を除く／予約制）

所 市民病院

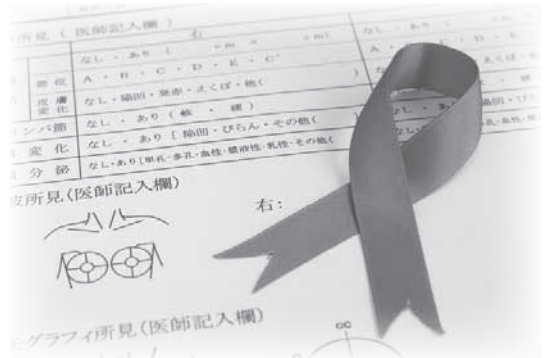
対 40歳以上（昭和57年3月31日以前生まれ）の人

内 乳房X線写真撮影（マンモグラフィ）、医師による視触診、自己触診法の説明

費用

区分	料金	備考
一般	1,400円	
市発行の無料クーポン券を使用する人	無料	
生活保護を受給している人	無料	市役所で証明書を受け取り検診当日提出
市民税非課税世帯の人	無料	市役所で証明書を受け取り検診当日提出
昭和27年3月31日以前生まれの人	無料	

申 平日13時～17時に電話で市民病院地域連携室



昨年まで実施していました、ジャパン・マンモグラフィースァンデー（10月の第3日曜日）は、新型コロナワクチン接種の日程と重なるため中止します。

碧南の歴史へのいざない

問 文化財課
☎48-6602

No.86 空中写真散歩(4) ～久沓・西山間の旧道～

久沓と西山は、江戸時代にそれぞれ大浜村、棚尾村の枝郷から発展した集落です。久沓は承応2年（1653）に大浜村本郷から13戸が移住したといわれます。村の鎮守である白山社には、江戸時代に市古氏らが奉納した絵馬が現存します（市指定文化財）。西山は、東山と並んで棚尾村の枝郷で、棚尾村から

移住した人たちによって集落ができ、元禄9年（1696）に御鋤社がまつられました。御鋤社の東で生まれた服部長七（1840～1919）は明治時代に人造石工法により、築堤、築港などの工事を全国各地で手がけています。

その後、大正3年（1914）に三河鉄道が開通し（北新川駅設置）、昭和10年（1935）に高浜川が開削され、また近くに現在の碧南工科高校が置かれるなど、農地から周辺環境が大きく変化し今に至っています。



△1948年撮影空中写真／国土地理院提供